

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	兵庫県			代表者名	坂本 哲也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	自治研修所	連絡先電話番号	078-754-8228
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	鳥居 良介	連絡先E-mail	
住所	655-0872 兵庫県神戸市垂水区塩屋町5-3-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	EBPM入門研修事業
概要	県・市町の若手・中堅職員に対して、EBPMの手法の講義、指導いただき、データに基づく政策立案のフレームワークをインプットし、それを演習することで、日々の業務からデータの収集・整理の意識の醸成をする。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） EBPM（エビデンスに基づく政策立案）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月24日	支援・助言&講演(実地)	10時45分	17時45分	60
				活動時間（分）	360
2-2. 派遣場所	会場名	兵庫県自治研修所		最寄駅	JR垂水
	所在地	兵庫県神戸市垂水区塩屋町5-3-1		最寄駅からの交通手段	タクシー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 拓也
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	EBPMの初心者に向けて、基礎的な部分から始めて、そもそもなぜ必要なのか、DXとの関係、実際にデータを収集するときの視点などわかりやすく解説いただいた。また、それぞれの研修生の質問にも丁寧にご対応いただき、関係性の構築も円滑に行われた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、研修生の個別に抱える課題にも対応いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	16人
	属性	自治体職員	住民
	人数	13	3

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現在、県および市町の多くの職員は、EBPMという言葉自体は認識しているものの、具体的な手法や実践経験が不足している。EBPMの重要性は理解されているものの、どのようなデータを収集・分析し、どのように政策立案に活かすべきかという具体的な知識の欠如、さらには実践機会の不足が、組織全体でのEBPM推進を阻害しているのが現状である。これにより、経験や勘に頼る政策立案から脱却し、客観的データに基づいたより効果的な政策形成へと移行することが求められている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	EBPMの基本知識を得、どんなデータがどこから取得でき、何に使えるかを理解し、政策立案の仮説設定に利用できるようになる。政策課題、現状分析などを行ったシートを整理し、政策立案の次のステップへつなげる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	EBPMの初心者に向けた、基礎的知識のインプット講義。実際に企画する際のフレームワークの指導。データ分析の実践講義など。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	EBPMの用語を初めて聞いたという研修生が多い中、その意義を学び、導入部分の知識を得ることができた。また、具体的に地域課題などを分析していくことで、問いの立て方などを数値とともに考える手法を身につけることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 企画提案書の草案まで	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	データから仮説を立てるところまではできたが、そこから立証にいたるまではなかった。次回以降に分析していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは後日実施	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 さらに課題・解決策の仮説を進めていき、フィールドワークを経て、政策提案書を作成する
4－4. 事業の最終的な目指す姿	研修修了時(令和7年9月9日)には参加者がEBPMの基本的な考え方から具体的な実践手法までを習得し、EBPMを積極的に活用し客観的なデータに基づいた論理的な政策立案・評価が可能となり、質の高い行政サービスを提供することで、住民の生活の質の向上に貢献することを目指す。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		
		